

香川県 在宅医療・介護連携に関する市町研修会

# グループワーク

2017年10月17日

松本 佳子



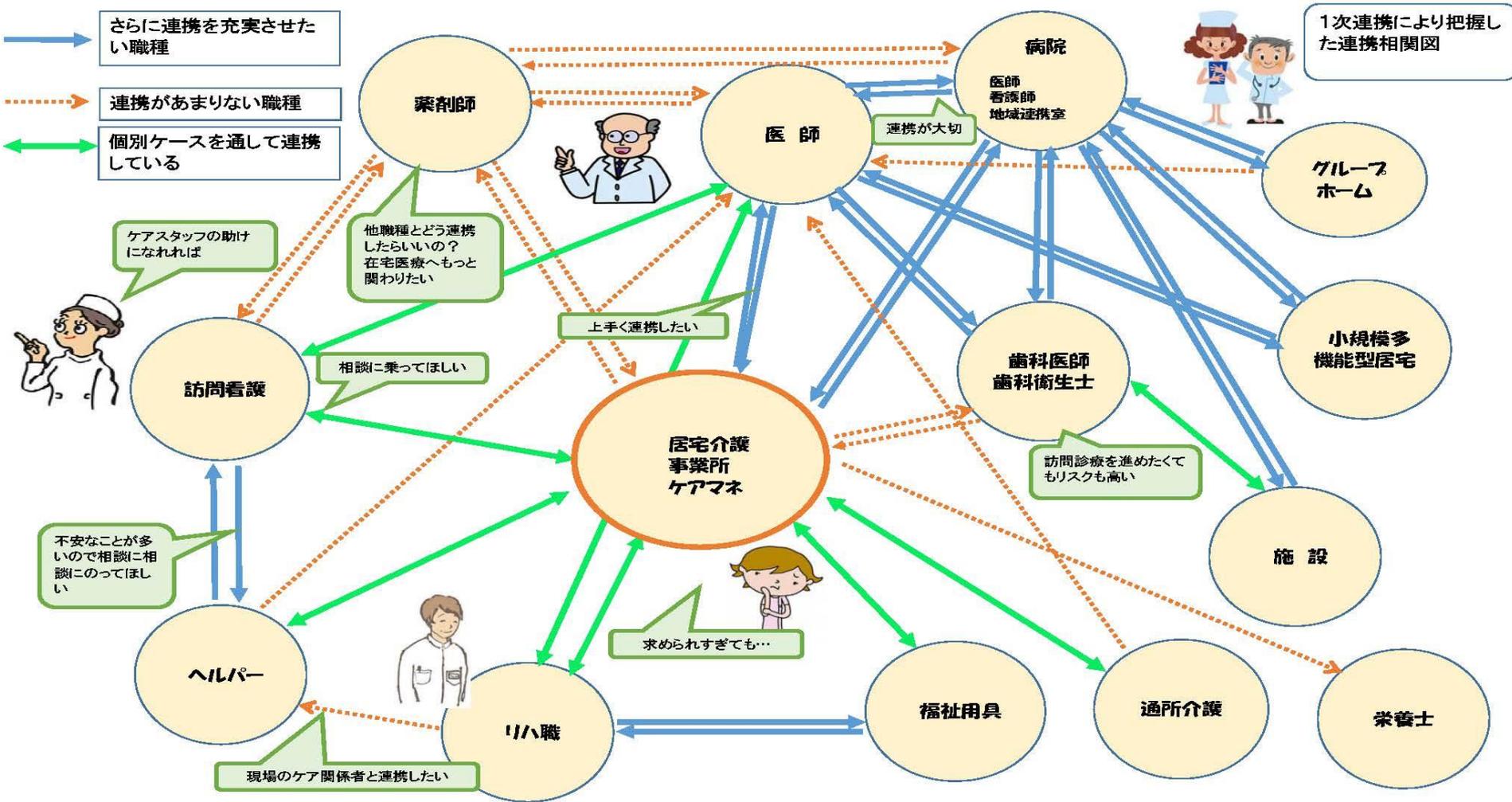
東京大学 医学部 在宅医療学拠点

Center for Home Care Medicine, Faculty of Medicine, The University of Tokyo

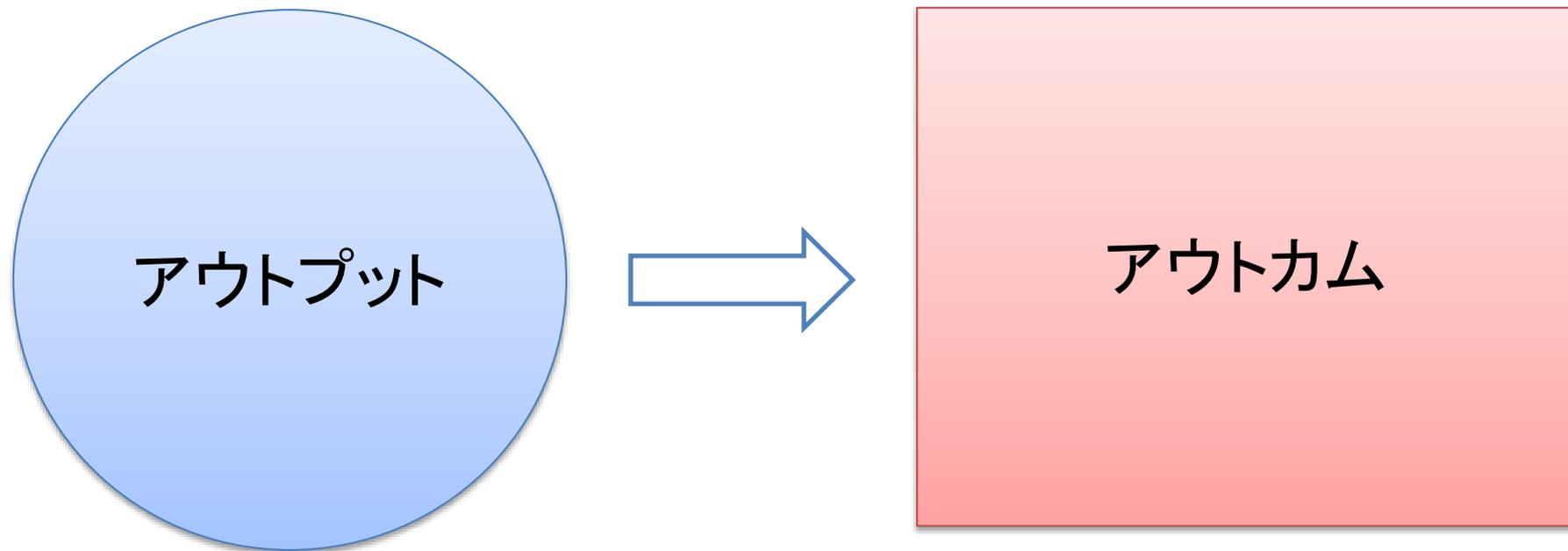
# グループワークの流れ

1. 地域の現状と課題について情報交換（20分）
  - ・各職種が抱える現状と課題、職種間連携の現状と課題
  - ・それが住民にどう影響しているのか
2. ロジックモデルを用いて事業を考える（40分）
  - ※最終アウトカム：住民、利用者、患者にとっての成果
  - ※中間アウトカム：それを実現するためにあるべき連携
3. グループで意見交換しながら、改訂・修正・向上させる（20分）
  - ※最終アウトカム、中間アウトカム、施策アウトプットは論理的につながっているか？
4. グループから発表

# 職種間の連携課題のまとめ 例：高島市



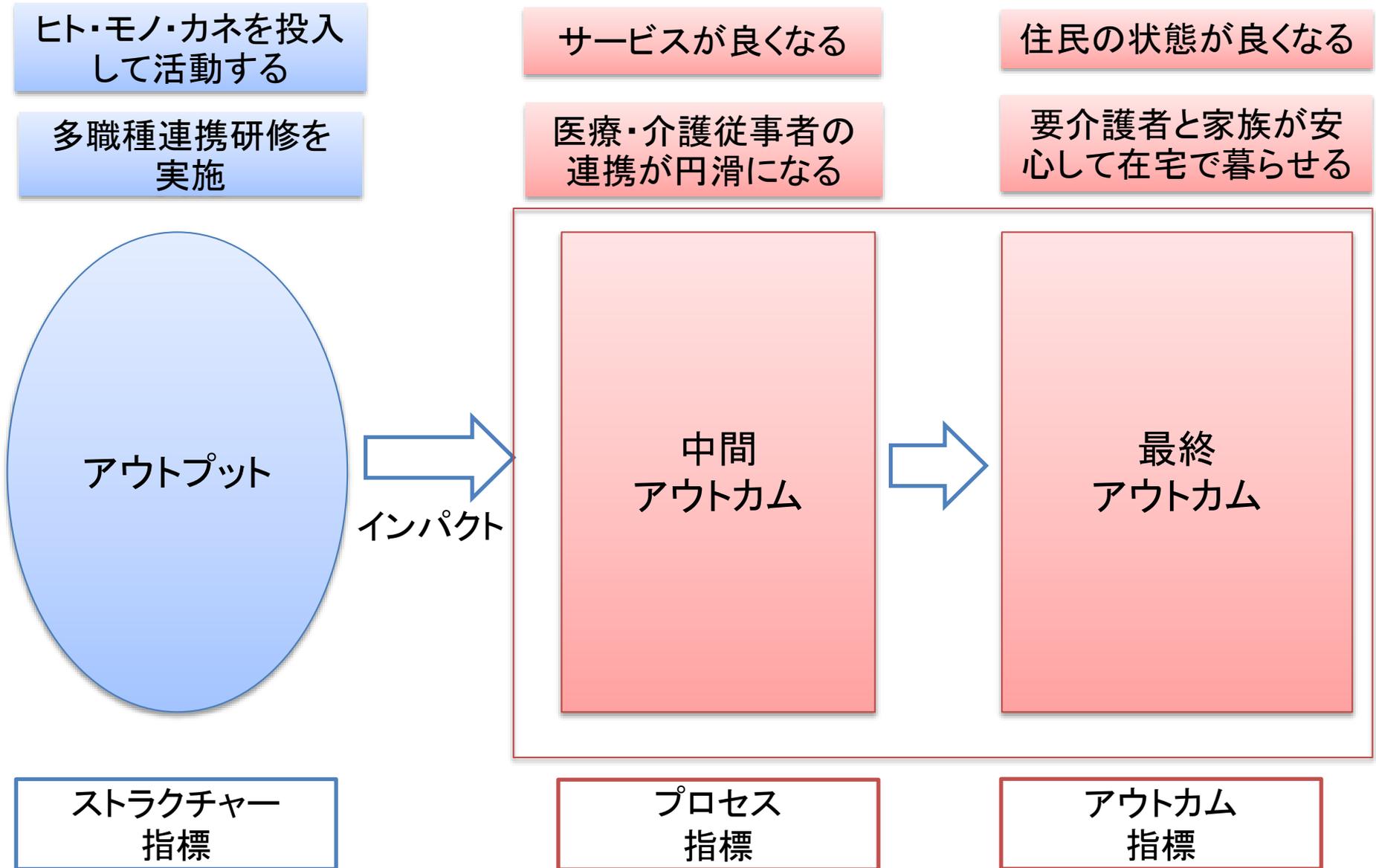
# アウトカムとアウトプット



施策や活動の主体に起  
きること(結果)

活動が働きかけた対象の  
側に起きる変化(成果)

# ロジックモデルで実際の事業を考える 例



# 実際に事業を考える時のツリー

